



学会発表 ～日本医療マネジメント学会～

2月16日(土) ピアザ淡海にて、「日本医療マネジメント学会 第10回京滋支部学術集会」が開催されました。今年は『三方よしの医療マネジメントを目指して』をテーマに、500名を超える医療従事者が参加。当院からは5名の職員が研究を発表しました。また、診療情報管理・クリニカルパスのセッションでは、当院が座長をつとめました。

1. 「摂食訓練を必要とする
患者に対する口腔ケアの一考察」
医療療養病棟 看護師
2. 「通所リハが維持期通院リハの
受け皿となるための要件について
～アンケート調査からの一考察～」
リハビリ療法部 理学療法士
3. 「退院時合同カンファレンスでわかる
地域連携の問題点について」
地域連携室 社会福祉士
4. 「脳卒中後遺症による
二次障害の改善について」
リハビリ療法部 理学療法士
5. 「壮年期にある患者の
障害受容に向けた関わり
～心理的サポートの大切さ～」
回復期リハビリテーション病棟 看護師

病院周辺の 名所旧跡

その2

「病院だより第26号」では、蘆花浅水荘や膳所焼き美術館を紹介させていただきました。今回は神社を紹介したいと思います。

1つ目は粟津神社です。小祠ですが膳所の総社として信仰され、現在も山王祭には、唐崎沖で「粟津の御供」を献上されています。

2つ目は本多神社です。膳所藩主を輩出した本多家ゆかりの神社で、明治16年に旧藩士などの有志により建立されました。膳所藩主の別邸であった瓦ヶ浜御殿のあった場所に建っています。神紋は本多氏の「立葵」。境内中程には日本で初めてロビンソンクルーソーを和訳した膳所藩の儒学者「黒田麴廬」の顕彰碑もあります。

最後に、当院から琵琶湖を眺めると公営駐車場横に大きな句碑が見えます。これは当地を愛した俳聖松尾芭蕉のもので、「四方より花吹き入れて鳩の湖」と刻まれています。春、花雲となった膳所城址公園が思い浮かびます。画家やお殿様の愛した風景が、当院の窓に広がっています。この美しい眺めも当院の自慢のひとつです。



市民のための 「寝たきり予防講座」

大津市医師会より、「市民のための寝たきり予防講座」の講師派遣のご依頼をいただき、当院の片山医師(神経内科)が講演を行いました。2月23日(土)午後1時、雪がちらつく寒い中、晴嵐市民センターに約30名の地域の方々が参加して下さいました。テーマは「脳卒中のお薬のお話」。参加者の方からは、『今日の講座の話を知り合いに教えてあげます。』とご意見をいただき、資料を数冊持って帰る参加者もおられました。今回の講座で脳卒中に関心をお持ちいただき、地域のみなさまの病気の予防や健康増進にお役にたてればと思います。

